

CentreCOM LA-PCMシリーズ ドライバーインストール時のご注意

本製品に添付されているWindows NT対応ドライバーソフトウェア（同梱のフロッピーディスクに収められています）は添付のリリースノートを作成したのちに改良され、Direct Enabler[†]に関する2項目（PCIC Base Address・PCMCIA Slot）の値を設定できるようになりました。そのため、インストール時に表示される画面がリリースノートに記載されているものと異なっています。

お手数をおかけしますが、インストール時にはこの添付紙をリリースノートとともにご参照下さいますようお願いいたします。

該当箇所

「リリースノート<CentreCOM LA-PCMシリーズ>」p.9 手順 (12)

† Direct Enabler について

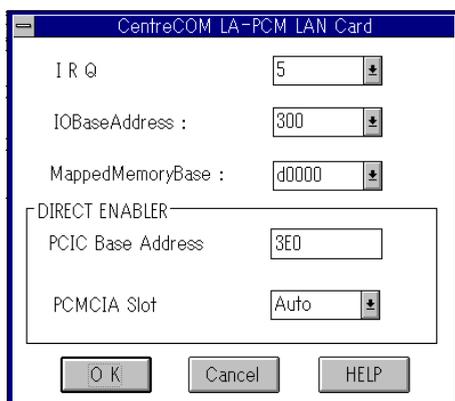
Direct Enablerとは、PCMCIA.SYSを使用しないで、直接PCMCIAコントローラ(PCIC)を制御してLA-PCMを活性化する機能で、ドライバーの中に組み込まれています。

一部のコンピュータではPCIC Base AddressやPCMCIA Slotの値がPCMCIA Release2.1規格で推奨されている値と異なるものを使用しているため、PCMCIAコントローラが正常に機能しないことがあります。そのような場合はDirect Enablerを使用してPCIC Base Address・PCMCIA Slotの値を直接指定すると正常に使用できるようになります。

Windows NT Ver.4.0は対象としません。

Direct Enablerの設定はWindows NT Ver.3.51を使用している場合のみ必要となります。Windows NT Ver.4.0ではPCIC Base AddressやPCMCIA Slotの値は自動的に設定されるため、ユーザによる設定は必要ありません。

インストール時の画面と各設定項目についての詳細は以下のとおりです。



Windows NT 用ドライバーインストール時の画面

1. PCIC Base Address

ホスト PCMCIA コントローラアドレスの値を指定します。

一般的にはホスト PCMCIA コントローラアドレスの値は 3E0H (PCMCIA Release2.1 規格による推奨値) に設定されていますが、コンピュータの機種によっては異なる値を使用しているものもありますので、必ずご使用のコンピュータのマニュアルでご確認ください。なお、デフォルト値は 3E0H です。

2. PCMCIA Slot

LA-PCM を挿入している PCMCIA スロットの番号 (1 または 2) を指定します。デフォルトは Auto (自動選択) ですが、できる限り番号で指定してください。

番号は「1」または「2」の2つで指定しますが、ご使用のコンピュータがスロットの番号を異なる表記で表示している場合は次のように置き換えて下さい。

「0」「1」で表示されている場合

「0」 「1」 「1」 「2」と置き換えてください。

「上」「下」で表示されている場合

一般的には「上」 「2」 「下」 「1」と置き換えていただければよいようですが、機種によっては逆の場合もあります。